

令和 7 (2025) 年度

事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

公益財団法人北九州国際交流協会

公益財団法人北九州国際交流協会

令和 7(2025)年度 事業報告書

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、令和 3(2021)年 3 月に策定した中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施した。

中期計画の 5 年目となる令和 7(2025)年度は、新型コロナによる入国制限緩和後に急増し、コロナ前を上まわっている外国人市民(令和6年12月末 17,280 人)との共生社会の実現に向けた取組みを引き続き推進した。具体的には、

- 1 平成 31(2019)年 4 月に設置した「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」において、外国人市民への多言語による生活全般の情報提供・相談。
- 2 「生活支援」の 1 つとして、外国人市民への防災対策を充実。
- 3 外国人市民の言葉の壁を取り除くために、外国人市民への日本語教育を充実させ、同時に地域住民等への「やさしい日本語」の普及の取組み等に努めた。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1)外国人市民の相談窓口の充実等

ア 北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの取組み

外国人市民が安心して相談できるよう支援体制の強化・充実に努める。

- 協会(八幡西区コムシティ3階)及び小倉北区役所で、「外国語相談員」が日本語、英語、中国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語は電話通訳を活用した多言語通訳システム等の活用により日本語を含む最大24言語の相談に対応
- 前年度、試行的に区役所等で導入した「オンライン相談」の本格化
- 多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を中心に関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローの実施
- 日本語教育に関する相談に、「日本語コーディネーター」が「外国語相談員」と連携して対応

対応日時:月曜～金曜日 9:30～16:00

相談者数:1,304 人 相談件数 1,760 件

○「相談通訳コーディネーター」が、翻訳などのサポーターや行政・医療通訳ボランティアの育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援の実施

※コミュニティ通訳業務(市の委託事業)

対応件数: 174件(内派遣件数 82 件)

言語別件数:英語 65 件、中国語 61 件、ベトナム語 27 件、ネパール語 19 件、
韓国語1件、タガログ語1件

内容別件数:区役所(行政手続)関係 64 件、子育て支援(子ども関係) 81 件、
子育て支援(母親関係)14 件、医療機関・保健所業務9件、
その他 6 件

※医療通訳派遣(協会の法人賛助会員は無料)

派遣件数:18 件

言語別件数:英語 2 件、中国語 6 件、ベトナム語 10 件

診療科別件数:内科 9 件、産婦人科 8 件、眼科 3 件、循環器科 1 件、整形外科 1 件、
(複数科受診を含む)

※産婦人科 8 件は行政通訳(医療機関)との二重カウント

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施した。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談会」	1 回/月	相談件数:62 件
○弁護士による「法律相談」	1 回/月	相談件数:13 件
○臨床心理士による「心理カウンセリング」	2 回/年	相談件数: 1 件

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市等で構成する「外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックした。

開催日:10月9日(八幡西生涯学習総合センター大会議室)	参加者数:28 人
1月27日(八幡西生涯学習総合センター大会議室)	参加者数:32 人
出席機関:福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、北九州市(国際政策課、地域福祉推進課、区保健福祉課等)	

(2)多言語による情報提供の改善

ア ホームページ等による広報

日本語、英語、中国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したホームページやフェイスブック、インスタグラムによって効果的な情報発信を行った。

※ホームページアクセス件数

日本語 98,262 件、英語7, 699件、中国語3, 198件、韓国語2, 031件

ベトナム語 2,328 件、やさしい日本語 2,373 件 合計115,891件
Facebook フォロワー数:1,680人 Instagram フォロワー数:986人

イ 外国人市民への防災対策

(ア)外国人市民等への防災研修

○外国人市民のための防災訓練スタディツアー(市の委託事業)

地域住民との顔が見える関係づくり及び防災について意識を啓発するために八幡西区の防災訓練に参加した。(英語通訳付きで実施)

開催日:10月25日

場 所:引野小学校、北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

参加者数:19人(フィリピン、インドネシア、イラン、モンゴル、中国、台湾、ベトナム)

(イ)北九州市災害多言語支援センターの運営

○外国人支援者向け防災研修(市の委託事業)

開催日:2月4日 10:30~12:00

場 所:八幡西生涯学習総合センター大会議室

参加者数:27人(北九州市関係部署職員、北九州市内警察署員、JICA九州、社会福祉協議会、市民センター館長、協会職員等)

講 師:熊本市国際交流振興事業団 事務局長 勝谷 知美 氏

内 容:災害時の外国人支援「災害時に役立つやさしい日本語」についての講義

○「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル」運用研修(市の委託事業)

就業中の災害(集中豪雨)発生を想定し、マニュアルに沿って3つの班に分かれて、センター設置の周知や外国人に向けた情報発信、相談対応業務をシミュレーションした。

日 時:令和8年2月21日 13:30~16:00

場 所:北九州国際交流協会内

講 師:熊本市国際交流振興事業団 事務局長 勝谷 知美 氏

参加者:北九州国際交流協会職員、北九州市職員 計16人

(3)日本語教育の推進とICT活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人を対象とした協会主催の日本語教室は、ICTを活用し、外国人児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室は対面形式で教室を開催した。

(ア) 外国人生活者支援

○「にほんご1」(オンライン)

開催期間:5月14日~3月4日 1期20回、年間3期実施

(毎週水・金曜日 10:00~11:30)

開催回数:60回 登録学習者数:32人(実数)

学習者の国籍:フィリピン、中国、ベトナム、アメリカ、ドイツ、カナダ、台湾、バングラディシュ、スペイン、モンゴル、ネパール、タイ、インドネシア、スリランカ、トルコ、

マダガスカル

○「にほんご2」(オンライン)

開催期間: 5月13日～3月5日 1期20回、年間3期実施
(毎週火・木曜日 10:00～11:30)

開催回数: 60回 登録学習者数: 32人(実数)

学習者の国籍: アメリカ、メキシコ、中国、台湾、タイ、フィリピン、ネパール、アメリカ、スイス、
インドネシア、ドイツ、ボリビア、ベトナム、カナダ、スペイン、フィリピン、
モンゴル、マダガスカル、バングラディシュ

○「にほんご3」(オンライン)

開催期間: 5月12日～3月2日 1期10回、年間3期実施
(毎週月曜日 10:00～11:30)

開催回数: 30回 登録学習者数: 12人(実数)

学習者の国籍: バングラディシュ、インドネシア、モンゴル、中国、フィリピン、インドネシア、
アメリカ、ドイツ、ベトナム

(イ) 外国人子ども支援(児童生徒を対象にした日本語教室)

○「にほんごひろば」(対面)

開催期間: 6月14日～2月21日(土曜日 10:00～11:30)

開催場所: 北九州 YMCA

開催回数: 11回 登録学習者数: 20人 登録ボランティア数: 18人

学習者の国籍: 中国、ベトナム、フィリピン、モンゴル、ネパール、インド

○「なつやすみにほんごひろば」(対面)

開催期間: 7月22日～8月1日(火曜～金曜 10:00～11:00)

開催場所: 北九州 YMCA、北九州国際交流協会

開催回数: 8回 登録学習者数: 12人 登録ボランティア数: 17人

学習者の国籍: 中国、ベトナム、ネパール、フィリピン、モンゴル、セネガル

(ウ) 直営日本語教室日本語パートナーのための研修(オンライン)

開催期間: 4月24日～12月5日 計20回

参加者数: 27人(実数)

(エ) 日本語交流マッチングパートナー制度の実施(オンライン)

開催時期: 6月

実施回数: 2組(日本語学習支援者と日本語学習者のペア)×80分×3回

参加者: 日本語学習支援者2人、日本語学習者2人(国籍: ネパール)

(オ) にほんごひろばボランティア研修(オンライン)

開催時期: 5月31日～7月8日 計9回

参加者数: 18人(実数)

(カ) 日本語教育人材研修

①テーマ: 外国ルーツの子どもたちへの入門期から基礎の日本語指導/学習支援

開催日: a. 令和7年7月25日(金)14:00～17:00

b. 令和7年7月26日(土)9:30～12:30

c. 令和8年2月14日(土)10:00～11:30

場 所：a.小倉中央小学校 b.北九州国際会議場 c.オンライン
参加者：北九州で子ども・若者に日本語指導を行っている支援者、これから行う予定がある人 a.9人 b.26人 c.6人
講 師：大阪府堺市立三原台中学校 日本語指導センター主任 浦久仁子氏(a、b、c) 子どもの頃に来日した外国人当事者(cのみ)
内 容：子どもへの日本語指導の取り組みや子どもに対する日本語指導の注意点と具体的な方法、当事者の子どもたちから見た日本語指導について学んだ。

イ 地域日本語教室との連携

(ア)地域日本語教室への支援

市内で日本語教室を運営している 16 の教室・団体の課題や問題点の把握に努めるとともに必要な支援を行い、連携して日本語教育を推進した。

○地域の日本語教室 16 教室に対して運営資金の一部を助成(76 万円)

○日本語コーディネーターによる教室訪問(随時)

○「にほんごクラスマップ」更新

○日本語学習支援者向け研修会の開催

①テーマ：日本語ボランティア入門講座

開催日：第 1 期

- a.令和 7 年 8 月 1 日(金)18:30～20:00
- b.令和 7 年 8 月 8 日(金)18:30～20:00
- c.令和 7 年 8 月 9 日(土)～8 月 30 日(木) 各自教室見学
- d.令和 7 年 8 月 31 日(金)18:30～20:00

第 2 期

- a.令和 7 年 11 月 1 日(日)14:00～15:30
- b.令和 7 年 11 月 8 日(日)14:00～15:30
- c.令和 7 年 11 月 9 日(日)～12 月 6 日(土) 各自教室見学
- d.令和 7 年 12 月 7 日(日)14:00～15:30

場 所：第 1 期北九州市立生涯学習総合センター 第 2 期北九州国際交流協会

参加者：第 1 期 25 人(実数) 第 2 期 24 人(実数)

講 師：a.北九州国際交流協会 総括日本語コーディネーター
b.文部科学省地域日本語教育アドバイザー 一氏隼人氏
c.地域日本語教室学習支援者
d.地域日本語教室代表者、地域日本語教育コーディネーター

○地域日本語教室との意見交換会

開催日：5 月 15 日(木)18:00～19:00

場 所：北九州国際交流協会、オンライン(Zoom)

参加者数：教室の代表者・メンバー 計 12 人

(イ)「留学生弁論大会」及び「日本語おしゃべり発表会」の開催

外国人留学生や技能実習生等に日本語でスピーチする機会を提供することで日本語学習意欲の増進と地域日本語教室間の情報共有、相互理解の促進につながった。

○「留学生日本語弁論大会」

開催日:10月12日(日)13:00~16:00

場 所: 子どもの館 子どもホール

発表者数:10人(中国3人、ネパール2人、ミャンマー1人、マレーシア1人、インドネシア1人、カンボジア1人、台湾1人、)

来場者数:48人

○日本語おしゃべり発表会

開催日:2月1日(日)13:00~16:30

場 所: 子どもの館 子どもホール

発表者数:14人(中国6人、ベトナム3人、インドネシア3人、ネパール1人、モンゴル1人)

来場者数:115人

ウ 外国人受入企業の支援

市内3の企業・団体から相談を受け、そのうち2企業へ「日本語教育支援」を実施した。

○「北九州国際交流協会の日本語教育支援」

主に外国人スタッフと日本人従業員のコミュニケーションを重視したプログラム。外国人スタッフ向けの10回の日本語教育プランに加え、日本人社員向けのコミュニケーション研修がある(外国人スタッフ向け日本語教育は日本語講師を派遣)。また、個別具体的な助言や支援を希望する外国人受入企業に対してコーディネーターを派遣した。

① 総合工事業

場所:小倉南区

期間:6月4日~8月6日(毎週1回×10日)

対象者:フィリピン人技能実習生8人

② 自動車整備業

場所:小倉北区

期間:2月26日~3月26日(毎週1回×3日)

対象者:フィリピン人技能実習生5人

エ やさしい日本語普及啓発事業

地域等へ広く「やさしい日本語」を普及すること、「やさしい日本語」を通じて日本人と外国人がコミュニケーションを取り、両者の相互理解を深め多文化共生意識を醸成するために「やさしい日本語」の啓発を行った(北九州市国際政策課との協働事業)。

開催時期:7月~1月 開催回数:4回

対象者:110人{一般市民(八幡西区・小倉北区)、外国人受入企業(若松区)、
市民センター館長(小倉南区)}

オ 北九州市立夜間中学校（ひまわり中学校）への日本語教育支援

令和 6 年 4 月に開校したひまわり中学校に日本語を母語としない生徒等への日本語学習支援における連携の効果を図るため、日本語コーディネーター等を派遣した。

期間：令和 7 年 8 月～9 月 全 2 回

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 人材バンク登録の推進

ア 人材バンク・協会ボランティア登録の推進

人材バンク登録者及びボランティアの新規登録を進めると共に当協会の事業やイベント等で人材の活用を図った。

＜人材バンク＞

登録状況 3 月 31 日現在

○翻訳サポーター（協会や市からの依頼により翻訳を行う）：4 人

○日本語教育サポーター（日本語学習の指導を行う）：4 人

○文化紹介サポーター（多文化共生や国際理解推進のための講演や研修を行う）：40 人

○外国語相談サポーター（協会窓口で相談対応や翻訳を行う）：3 人

○外国人住民応援サポーター（協会からの外国人に役立つ情報の発信を行う）5 人

＜協会ボランティア（言語内訳は重複あり）＞

○行政通訳ボランティア：71 人（うち 3 名は 2 言語登録）

※うち災害時通訳サポーターとして 58 人登録

中国語 26 人、英語 17 人、ベトナム語 7 人、韓国語 6 人、インドネシア語 2 人、
タガログ語 4 人、ネパール語 4 人、タイ語 2 人、ロシア語 1 人、モンゴル語 3 人、
ドイツ語 1 人、ウルドゥ語 1 人

○医療通訳ボランティア：37 人（うち 1 名は 2 言語登録）

中国語 20 人、英語 13 人、韓国語 4 人、ベトナム語 1 人

○専門家相談通訳ボランティア：17 人

○交流ボランティアファミリー：64 家庭

○日本語教育ボランティア：30 人

○読書ボランティア：25 人

イ 外国人人材の情報収集・人材発掘

外国人人材を発掘して文化紹介サポーターとして人材バンク登録してもらい、希望する市民センターや学校、穴生学舎、ユースステーション等計 22 件派遣した。

(2) 留学生等に対する支援

ア 地元企業への就職等支援

○留学生ための北九州市魅力発見ツアー

留学生が北九州市内企業に就職・定着することを目指して、留学生に北九州市の魅力を知ってもらい、北九州市に住みたい、働きたいと愛着を持ってもらうために開催した。

開催日：12 月 13 日

場 所:北九州エコタウンセンター、小倉城&旦過市場、TOTO ミュージアム
参加者数:10 人

イ 関原大連市留学生奨学金給付(関原北九州大連友好基金の活用)

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、北九州市立大学大学院(1人)、九州工業大学大学院(1人)、早稲田大学大学院(1人)に通う留学生(計3人)に、月額 2 万円(年額 24 万円)を支給した。

ウ 留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した(北九州市立大学等計 6 回)。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1)外国人市民の地域社会への参加促進

読書ボランティアのアウトリーチ活動(出張読書活動推進)

外国人市民の読書ボランティア(読書ボランティア 25 人中 13 人が外国人市民)が、主に外国につながる外国人児童・生徒等のために、小倉北区の子ども図書館と八幡西区の八幡図書館折尾分館、若松図書館の 3 か所で計 4 回の多言語お話し会を開催した。

(2)民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア)北九州国際交流団体ネットワーク(キーネット:加盟 60 団体)の事務局支援

総 会:5 月 31 日(JICA 九州 2 階セミナールーム)

役員会:6 回開催

ワークショップ・講演会(研修会):2 回開催

①テーマ:「在留外国人との分断・摩擦解消のために私たちができること」

開催日:5 月 31 日

場 所:JICA 九州2階セミナールーム

参加者数:20 人

②テーマ:「“旅する母ちゃん”がみたNIPPON～自分に起こる全てのことに意味がある～」

開催日:3 月 14 日

場 所:八幡西生涯学習総合センター大会議室

参加者数:29 人

パネル展:10 月 7 日～16 日(ひとみらいプレイス) 参加団体数:14 団体

(イ)民間団体の活動支援

○事業の共催、後援及び広報支援等 共催:4 件 後援:8 件

イ 国際理解教育の推進

(ア)国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際財団との協働事業として、外国人市民等を講師として、保育施設・小・高等学校や市民センター等に派遣する事業に協力した。

派遣した市内の学校数、派遣数及び講師数：27 校、30 件・62 人

(イ)協会職員等の講師派遣

小学校、高校、団体等に協会職員や協会ボランティア等を講師として派遣し、自国の生活や文化等の紹介について講義を行った。

○協会職員や協会ボランティア等(派遣回数 24 回)

○協会職員(外国人支援主任(多文化ソーシャルワーカー))(派遣回数 8 回)

○協会職員(日本語コーディネーター・総括コーディネーター)(派遣回数 10 回)

ウ 多文化共生の地域づくり

学習会や交流会、交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の地域づくりを推進した。

(ア)英語で語る自分の国

回数：5 回 参加者数：134 人 場所：北九州国際交流協会

7 月 5 日 フランス 29 人

9 月 6 日 インドネシア 25 人

11 月 15 日 ニュージーランド 24 人

1 月 17 日 イギリス 30 人

3 月 7 日 フィリピン 26 人

(イ)レッツ トーク！ ☆

外国人市民と日本人が相互理解を深める交流会を開催した。

回数：2 回 参加者数：49 人 場所：北九州国際交流協会

8 月 2 日 23 人(内 9 人外国人)

2 月 7 日 26 人(内 13 人外国人)

(ウ)外国人市民の読書活動推進事業

外国につながる子ども言語保持育成と、日本語で育つ子どもの外国語への関心が広がることを目的に多言語おはなし会を開催した。

開催回数：7 回 参加者数：108 人

○7 月 9 日 場所：北九州生涯学習総合センター
参加者数：10 人(全員日本人)

○8 月 9 日 場所：北九州市立子ども図書館
参加者数：19 人(内 2 人外国人)

○9 月 20 日 場所：北九州市立若松図書館
参加者数：23 人(内 5 人外国人)

○10 月 19 日 場所：北九州国際交流協会
参加者数：11 人(内 5 人外国人)

○11 月 15 日 場所：八幡図書館折尾分館

- 参加者数:16 人(内 2 人外国人)
○12 月 20 日 場所:北九州市立子ども図書館
参加者数:16 人(内 3 人外国人)
○1 月 18 日 場所:北九州国際交流協会
参加者数:13 人(内 6 人外国人)

(エ)若者支援事業(市の委託事業)

○日本語で語る世界めぐり

楽しく学べる異文化交流イベントを開催した。

開催回数:2 回 参加者数:36 人

場所:八幡西生涯学習総合センター301 会議室

8 月 23 日 22 人

2 月 28 日 14 人

○キーネットパネル展(再掲)

開催期間:10 月 7 日～16 日(ひとみらいプレイス)

参加団体数:14 団体

○2025KIA 国際交流まつり

北九州市に住んでいる外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わいづくりに
つながるバザーや図書バザー、「読み聞かせ」(多言語おはなし会)を行った。

開催日:10 月 18 日、19 日

場 所:北九州国際交流協会

出品国:5 カ国 7 ブース

来場者数:約 640 人

○多文化共生ヒューマンライブラリー

北九州に住む外国人を含む語り手が語りをを行い、互いの文化や考え方を理解し、多文化
理解を深めるためのイベントを開催した。

開催日:12 月 6 日

場 所:北九州国際交流協会

参加者数:13 人

○国際理解チャチャチャ

中高生を対象に、世界の文化や国際的な知識を楽しく学べるイベントを開催した。

開催回数:3 回 参加者数:21 人

場所:北九州市八幡西生涯学習総合センター301 会議室

7 月 26 日 6 人

9 月 27 日 10 人

1 月 24 日 5 人

(オ)多文化共生の担い手育成

○コミュニティ通訳者フォローアップ研修(協会事業を支える人材育成)

開催日:2月14日

場 所:八幡西生涯学習センター301 会議室

内 容:

- ・ 講義「コミュニティ通訳の基本ルールと介入行為」
- ・ ケーススタディ(グループでの事例検討)
- ・ 通訳スキル向上のための訓練法紹介と実践
- ・ 通訳演習

参加者数:8人

○インターンシップ受入れ

① 夏季研修

北九州市からの依頼と協会への直接依頼があった大学生を受け入れた。

実習生:北九州市立大学外国語学部国際関係学科3年生2人

北九州市立大学文学部比較文化学科3年生1人

西南女学院大学人文学部英語学科3年1人

下関市立大学経済学部経済学科1人

計5人

実習期間:8月21日～8月23日 3日間

実習内容:協会事業の学習、外国語相談員にインタビュー及び意見交換、テーマに沿ったグループ発表 等

② 春季研修

協会への直接依頼があった大学生を受け入れた。

実習生:北九州市立大学外国語学部国際関係学科1年生1人

北九州市立大学外国語学部国際関係学科2年生1人

北九州市立大学経済学部経済学科3年生1人

計3人

実習期間:2月26日～2月28日 3日間

実習内容:協会事業の学習、外国語相談員にインタビュー及び意見交換、ホームページ原稿作成、イベント企画案作成・発表 等

○サービスラーニング受入れ

梅光学院大学より2人の実習生を受け入れた。

実習生:梅光学院大学国際学部国際言語文化学科2年1人

梅光学院大学文学部人文学科3年1人

計2人

実習期間:11月28日～2月2日 2か月間

実習内容:イベント補助、事務作業補助、日本語教室補助及びイベント企画と運営

(カ)地域との連携による多文化ソーシャルワーク推進事業(一般財団法人自治体国際化協会「多文化共生のまちづくり促進事業」助成)

小倉南区吉田校区と横代校区の2校区をモデルとして、外国人住民の地域生活課題の把握や地域住民との関係づくりを行い、外国人住民の地域福祉につながる体制を構築するとともに、地域が主体的に交流継続や進展できるような基盤づくりを行った。

《 協会の広報活動 》

○ホームページ等による広報(再掲)

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したホームページから、フェイスブックやInstagramの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

○北九州市が発行する市政だよりに、協会事業やイベント情報の掲載(59 件)

○メールマガジンによる情報提供(月 2 回)

協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信(メールマガジン登録者数:567 人)

○日本語教室やワンストップインフォメーション PR パンフレットの作成・配布(多言語対応)

○「多文化共生わいわい祭り(北九州YMCAとの共催)」への出展

出展日:11 月 3 日

場 所:北九州YMCA

出展内容:世界の民族衣装体験

民族衣装体験ブースの来場者数:320 人

《 協会の賛助会員数 》

○令和 8 年 3 月 31 日現在

法人会員数:26 団体

個人会員数:69 名

法人運営体制の充実を図るための取組み

○毎月実施する職員ミーティングにおいて、コンプライアンスの徹底、不祥事防止及び公益法人として求められる倫理意識の醸成に関する周知・啓発を継続的に実施した。

○理事会及び評議員会における審議の充実を図るため、重要議案に関する資料の事前配布及び説明を実施し、会議において十分な検討と建設的な議論が行われる環境整備に努めた。

また、専門的知見や豊富な実務経験を有する理事・評議員からの意見を法人運営に反映することで、事業執行の適正性及び透明性の確保並びにリスク管理機能の向上に取り組んだ。

令和 7(2025)年度事業報告の附属明細書

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

なし

令和 7 (2025) 年度

決 算 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 3 1 日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和7(2025)年度 貸借対照表

令和8(2026)年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,706,483	6,101,743	7,604,740
未収金	3,320,900	1,060,510	2,260,390
前払費用	12,700	10,500	2,200
流動資産合計	17,040,083	7,172,753	9,867,330
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	253,821,600	271,875,200	△ 18,053,600
基本財産合計	253,821,600	271,875,200	△ 18,053,600
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	23,830,172	33,986,709	△ 10,156,537
外国人材活躍支援資金積立資産	27,784,768	28,557,547	△ 772,779
特定資産合計	51,614,940	62,544,256	△ 10,929,316
(3) その他固定資産			
什器備品	13	140,321	△ 140,308
その他固定資産合計	13	140,321	△ 140,308
固定資産合計	305,436,553	334,559,777	△ 29,123,224
資産合計	322,476,636	341,732,530	△ 19,255,894
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,455,429	1,977,790	477,639
前受金	0	20,000	△ 20,000
預り金	596,904	553,895	43,009
流動負債合計	3,052,333	2,551,685	500,648
負債合計	3,052,333	2,551,685	500,648
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	138,785,940	155,871,256	△ 17,085,316
指定正味財産合計	138,785,940	155,871,256	△ 17,085,316
(うち基本財産への充当額)	(87,171,000)	(93,327,000)	(△ 6,156,000)
(うち特定資産への充当額)	(51,614,940)	(62,544,256)	(△ 10,929,316)
2. 一般正味財産	180,638,363	183,309,589	△ 2,671,226
(うち基本財産への充当額)	(166,650,600)	(178,548,200)	(△ 11,897,600)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	319,424,303	339,180,845	△ 19,756,542
負債及び正味財産合計	322,476,636	341,732,530	△ 19,255,894

令和7(2025)年度 正味財産増減計算書

令和7(2025)年4月1日から令和8(2026)年3月31日まで

(単位:円)			
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,381,000]	[2,381,000]	[0]
基本財産受取利息	2,381,000	2,381,000	0
特定資産運用益	[70,875]	[822]	[70,053]
特定資産受取利息	70,875	822	70,053
受取会費	[674,000]	[741,000]	[△ 67,000]
受取賛助会費	674,000	741,000	△ 67,000
事業収益	[2,373,750]	[2,364,477]	[9,273]
外国人市民の防災支援受託事業収益	493,000	300,000	193,000
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	1,112,800	993,600	119,200
人材育成受託事業収益	0	349,800	△ 349,800
やさしい日本語普及啓発事業収益	410,000	0	410,000
外国人市民と地域住民の交流事業収益	0	399,995	△ 399,995
若者支援事業受託事業収益	349,850	0	349,850
外国人受入企業の支援事業収益	0	321,082	△ 321,082
翻訳受託事業収益	8,100	0	8,100
受取補助金等	[72,635,000]	[67,751,000]	[4,884,000]
受取北九州市補助金	62,490,000	61,271,000	1,219,000
受取国庫補助金	7,945,000	6,480,000	1,465,000
受取助成金	2,200,000	0	2,200,000
受取寄付金	[10,933,316]	[3,625,820]	[7,307,496]
受取寄付金	44,000	55,616	△ 11,616
受取寄付金振替額	10,889,316	3,570,204	7,319,112
雑収益	[618,372]	[754,835]	[△ 136,463]
受取利息	32,241	5,111	27,130
その他雑収益	586,131	749,724	△ 163,593
経常収益計	89,686,313	77,618,954	12,067,359
(2) 経常費用			
事業費	[78,125,654]	[80,087,485]	[△ 1,961,831]
役員報酬	6,836,904	6,154,895	682,009
給料手当	36,543,524	37,075,568	△ 532,044
臨時雇賃金	2,951,526	4,199,412	△ 1,247,886
福利厚生費	8,693,923	8,251,060	442,863
奨学金	720,000	600,000	120,000
留学生等支援助成金	0	2,100,000	△ 2,100,000
外国人人材活躍支援助成金	760,000	1,059,000	△ 299,000
旅費交通費	1,126,051	1,443,552	△ 317,501
通信運搬費	1,291,840	2,092,453	△ 800,613
減価償却費	134,694	361,963	△ 227,269
消耗品費	526,616	1,165,430	△ 638,814
車両費	83,020	124,730	△ 41,710
印刷製本費	95,352	203,280	△ 107,928
光熱水料費	2,271,433	2,297,843	△ 26,410
リース料	1,208,913	1,050,700	158,213
使用料賃借料	4,107,286	4,297,834	△ 190,548
交際費	0	23,500	△ 23,500
災害保険料	64,861	123,159	△ 58,298
報償費	4,594,138	4,268,691	325,447
租税公課	200	4,000	△ 3,800
支払負担金	250,000	250,000	0
委託費	5,301,692	2,042,700	3,258,992
図書費	164,306	211,105	△ 46,799
食糧費	13,048	24,392	△ 11,344
雑費	386,327	662,218	△ 275,891
管理費	[2,374,283]	[2,237,263]	[137,020]
役員報酬	383,376	291,205	92,171
給料手当	30,858	179,140	△ 148,282
福利厚生費	102,109	112,602	△ 10,493
通信運搬費	12,694	27,226	△ 14,532
減価償却費	5,612	11,806	△ 6,194
消耗品費	8,819	32,312	△ 23,493
印刷製本費	0	2,970	△ 2,970
光熱水料費	115,811	117,256	△ 1,445
リース料	50,565	45,504	5,061
使用料賃借料	573,136	579,003	△ 5,867
支払負担金	100,000	100,000	0
委託費	853,298	660,000	193,298
交際費	0	3,000	△ 3,000
報償費	5,000	0	5,000
雑費	133,005	75,239	57,766
経常費用計	80,499,937	82,324,748	△ 1,824,811
評価損益等調整前当期経常増減額	9,186,376	△ 4,705,794	13,892,170
基本財産評価損益等	△ 11,897,600	△ 14,078,700	2,181,100
評価損益等計	△ 11,897,600	△ 14,078,700	2,181,100
当期経常増減額	△ 2,711,224	△ 18,784,494	16,073,270
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金	[40,000]	[40,000]	[0]
受取寄付金振替額	40,000	40,000	0
経常外収益計	40,000	40,000	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[2]	[1]	[1]
車両運搬具除却損	0	1	△ 1
什器備品除却損	2	0	2
経常外費用計	2	1	1
当期経常外増減額	39,998	39,999	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 2,671,226	△ 18,744,495	16,073,269
一般正味財産期首残高	183,309,589	202,054,084	△ 18,744,495
一般正味財産期末残高	180,638,363	183,309,589	△ 2,671,226
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[△ 72,756]	[△ 72,756]	[0]
基本財産受取利息	△ 72,756	△ 72,756	0
受取寄付金	[0]	[15,000,000]	[△ 15,000,000]
受取民間寄付金	0	15,000,000	△ 15,000,000
基本財産評価損	[6,083,244]	[6,869,244]	[△ 786,000]
一般正味財産への振替額	[△ 10,929,316]	[△ 3,610,204]	[△ 7,319,112]
一般正味財産への振替額	△ 10,929,316	△ 3,610,204	△ 7,319,112
当期指定正味財産増減額	△ 17,085,316	4,447,796	△ 21,533,112
指定正味財産期首残高	155,871,256	151,423,460	4,447,796
指定正味財産期末残高	138,785,940	155,871,256	△ 17,085,316
III 正味財産期末残高	319,424,303	339,180,845	△ 19,756,542

令和7(2025)年度 正味財産増減計算書内訳表
令和7(2025)年 4月 1日から令和8(2026)年 3月31日まで

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	多文化共生推進事業	関原基金事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益							
基本財産受取利息	0	950,000	1,330,800	2,280,800	100,200	0	2,381,000
基本財産運用益計	0	950,000	1,330,800	2,280,800	100,200	0	2,381,000
特定資産運用益							
特定資産受取利息	70,875	0	0	70,875	0	0	70,875
特定資産運用益計	70,875	0	0	70,875	0	0	70,875
受取会費							
賛助会員受取会費	0	0	674,000	674,000	0	0	674,000
受取会費計	0	0	674,000	674,000	0	0	674,000
事業収益							
外国人市民の防災支援受託事業収益	493,000	0	0	493,000	0	0	493,000
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	1,112,800	0	0	1,112,800	0	0	1,112,800
やさしい日本語普及啓発事業収益	410,000	0	0	410,000	0	0	410,000
若者支援事業受託事業収益	349,850	0	0	349,850	0	0	349,850
翻訳受託事業収益	8,100	0	0	8,100	0	0	8,100
事業収益計	2,373,750	0	0	2,373,750	0	0	2,373,750
受取補助金等							
受取北九州市補助金	60,215,917	0	0	60,215,917	2,274,083	0	62,490,000
受取国庫助成金	7,945,000	0	0	7,945,000	0	0	7,945,000
受取助成金	2,200,000	0	0	2,200,000	0	0	2,200,000
受取補助金等計	70,360,917	0	0	70,360,917	2,274,083	0	72,635,000
受取寄付金							
受取寄付金	0	0	44,000	44,000	0	0	44,000
受取寄付金振替額	10,889,316	0	0	10,889,316	0	0	10,889,316
受取寄付金計	10,889,316	0	44,000	10,933,316	0	0	10,933,316
雑収益							
受取利息	30,148	2,093	0	32,241	0	0	32,241
その他雑収益	586,131	0	0	586,131	0	0	586,131
雑収益計	616,279	2,093	0	618,372	0	0	618,372
経常収益計	84,311,137	952,093	2,048,800	87,312,030	2,374,283	0	89,686,313
(2) 経常費用							
事業費							
役員報酬	6,836,904	0	0	6,836,904	0	0	6,836,904
給料手当	36,543,524	0	0	36,543,524	0	0	36,543,524
臨時雇賃金	2,951,526	0	0	2,951,526	0	0	2,951,526
福利厚生費	8,693,923	0	0	8,693,923	0	0	8,693,923
奨学金	0	720,000	0	720,000	0	0	720,000
外国人人材活躍支援助成金	760,000	0	0	760,000	0	0	760,000
旅費交通費	1,126,051	0	0	1,126,051	0	0	1,126,051
通信運搬費	1,288,200	3,640	0	1,291,840	0	0	1,291,840
減価償却費	134,694	0	0	134,694	0	0	134,694
消耗品費	526,616	0	0	526,616	0	0	526,616
車両費	83,020	0	0	83,020	0	0	83,020
印刷製本費	95,352	0	0	95,352	0	0	95,352
光熱水料費	2,271,433	0	0	2,271,433	0	0	2,271,433
リース料	1,208,913	0	0	1,208,913	0	0	1,208,913
使用料賃借料	4,107,286	0	0	4,107,286	0	0	4,107,286
災害保険料	64,861	0	0	64,861	0	0	64,861
報償費	4,594,138	0	0	4,594,138	0	0	4,594,138
租税公課	200	0	0	200	0	0	200
支払負担金	250,000	0	0	250,000	0	0	250,000
委託費	5,108,394	193,298	0	5,301,692	0	0	5,301,692
図書費	164,306	0	0	164,306	0	0	164,306
食糧費	13,048	0	0	13,048	0	0	13,048
雑費	386,327	0	0	386,327	0	0	386,327
事業費計	77,208,716	916,938	0	78,125,654	0	0	78,125,654
管理費							
役員報酬					383,376	0	383,376
給料手当					30,858	0	30,858
福利厚生費					102,109	0	102,109
通信運搬費					12,694	0	12,694
減価償却費					5,612	0	5,612
消耗品費					8,819	0	8,819
光熱水料費					115,811	0	115,811
リース料					50,565	0	50,565
使用料賃借料					573,136	0	573,136
支払負担金					100,000	0	100,000
委託費					853,298	0	853,298
報償費					5,000	0	5,000
雑費					133,005	0	133,005
管理費計					2,374,283	0	2,374,283
経常費用計	77,208,716	916,938	0	78,125,654	2,374,283	0	80,499,937
評価損益等調整前当期経常増減額	7,102,421	35,155	2,048,800	9,186,376	0	0	9,186,376
基本財産評価損益等	△ 11,897,600	0	0	△ 11,897,600	0	0	△ 11,897,600
評価損益等計	△ 11,897,600	0	0	△ 11,897,600	0	0	△ 11,897,600
当期経常増減額	△ 4,795,179	35,155	2,048,800	△ 2,711,224	0	0	△ 2,711,224
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
受取寄付金	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
受取寄付金振替額	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
経常外収益計	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
(2) 経常外費用							
固定資産除却損	2	0	0	2	0	0	2
什器備品却損	2	0	0	2	0	0	2
経常外費用計	2	0	0	2	0	0	2
当期経常外増減額	39,998	0	0	39,998	0	0	39,998
当期一般正味財産増減額	△ 4,755,181	35,155	2,048,800	△ 2,671,226	0	0	△ 2,671,226
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	183,309,589
一般正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	180,638,363
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	0	△ 72,756	0	△ 72,756	0	0	△ 72,756
基本財産受取利息	0	△ 72,756	0	△ 72,756	0	0	△ 72,756
基本財産評価損	0	6,083,244	0	6,083,244	0	0	6,083,244
一般正味財産への振替額	△ 10,929,316	0	0	△ 10,929,316	0	0	△ 10,929,316
一般正味財産への振替額	△ 10,929,316	0	0	△ 10,929,316	0	0	△ 10,929,316
当期指定正味財産増減額	△ 10,929,316	△ 6,156,000	0	△ 17,085,316	0	0	△ 17,085,316
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	155,871,256
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	138,785,940
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	319,424,303

令和 7（2025）年度附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載するため、内容の記載を省略する。

2 引当金の明細

該当なし。

財 産 目 録

令和 8（2026）年 3 月 31 日現在

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	56,612
	預金	普通預金	運転資金として	
		福岡銀行八幡支店		9,632,703
		福岡銀行黒崎支店		27,700
		西日本シティ銀行八幡支店		805,339
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		2,888,105
		北九州銀行八幡支店		104,162
		福岡中央銀行黒崎支店		18,528
		郵公振替貯金		173,334
未収金	北九州市	事業に供する未収分	3,320,900	
前払金	ボランティア活動保険	令和 8 年度分	12,700	
流動資産合計				17,040,083
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	神奈川県第 31 回 20 年公募公債	定款で定めた基本財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運用に充てるための資産である。 公益目的保有財産 90% 78,447,240 円 収益事業・管理活動財産 10% 8,716,360 円	87,163,600
		第 152 回利付国債	定款で定めた基本財産であり、公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に充てることとしている。	45,741,000
		福岡市平成 28 年度第 6 回公募公債		79,487,000
		第 160 回利付国債		41,430,000
特定資産	留学生等支援資金	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた使途（留学生に対する支援）を目的に積み立てている資産である。	
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		7,500,000
		北九州銀行八幡支店		9,000,000
		普通預金		
	積立資産	福岡銀行八幡支店		7,250,172
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		80,000
	外国人材活躍支援	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた使途（外国人に対する支援）を目的に積み立てている資産である。	10,000,000
		福岡銀行黒崎支店		10,000,000
その他固定資産	資金積立資産	西日本シティ銀行八幡支店		
		普通預金		
		福岡銀行黒崎支店		7,784,768
		什器備品	ノートパソコン 6 台他	公益目的保有財産
固定資産合計				305,436,553
資産合計				322,476,636
(流動負債)	未払金	北九州市他	事業に供する経費未払分	2,455,429
	預り金	社会保険料他 2 件	令和 7 年度分	596,904
流動負債合計				3,052,333
負債合計				3,052,333
正味財産合計				319,424,303

令和 7 (2025) 年度 財務諸表に対する注記

この財務諸表等は、公益法人会計基準（平成 20 年 4 月 11 日 令和 2 年 5 月 15 日改正 内閣府公益認定等委員会）及び同運用指針（平成 20 年 4 月 11 日 平成 30 年 6 月 15 日改正 内閣府公益認定等委員会）並びに同実務指針（平成 28 年 3 月 22 日 平成 31 年 3 月 19 日改正 日本公認会計士協会）に準拠して作成している。なお、会計区分は移行認定に係る行政庁からの決定処分にもとづいている。

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券のうち時価のあるものについては、期末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価は移動平均法により算定）により行っている。なお、その他有価証券に係る評価損益は、当年度における損益として処理している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	271,875,200	0	18,053,600	253,821,600
小計	271,875,200	0	18,053,600	253,821,600
特定資産				
※1	33,986,709	0	10,156,537	23,830,172
※2	28,557,547	0	772,779	27,784,768
小計	62,544,256	0	10,929,316	51,614,940
合計	334,419,456	0	28,982,916	305,436,540

※1 留学生等支援資金積立資産

※2 外国人材活躍支援資金積立資産

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	253,821,600	(87,171,000)	(166,650,600)	—
小計	253,821,600	(87,171,000)	(166,650,600)	—
特定資産				
※1	23,830,172	(23,830,172)	(0)	(0)
※2	27,784,768	(27,784,768)	(0)	(0)
小計	51,614,940	(51,614,940)	(0)	(0)
合計	305,436,540	(138,785,940)	(166,650,600)	(0)

※1 留学生等支援資金積立資産

※2 外国人材活躍支援資金積立資産

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	2,626,524	2,626,511	13
合計	2,626,524	2,626,511	13

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
事業補助金	北九州市	0	62,490,000	62,490,000	0
※1	※1	0	7,945,000	7,945,000	0
※2	※2	0	2,200,000	2,200,000	0
合計		0	72,635,000	72,635,000	0

※1 教育支援体制整備事業補助金 文部科学省

※2 多文化共生事業補助金 (一財) 自治体国際化協会

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業実施による指定解除額	889,316
理事会決議による指定使途外取崩額	10,000,000
経常外収益への振替額	
事業実施による指定解除額	40,000
合計	10,929,316